

2024年度 第1回細胞検査士会役員会議事録

日 時：第65回日本臨床細胞学会総会（春期大会）
2024年6月7日（金） 13：30～14：30 現地

場 所：大阪国際会議場 10F 1008 第6会場

出席者：【会長】阿部仁
【副会長】澁木康雄
【幹事】青木裕志，五十嵐清子，棚田諭，平田哲士，阿部英二，遠藤浩之，加戸伸明，横山俊朗，伊藤仁，仲村武，柿沼廣邦，内山勲，大澤幸希光，河原明彦，河村憲一，岸本浩次，木下勇一，小材和浩，佐々木健司，佐藤憲俊，田口雅子，藤岡学，町田知久，新垣善孝，岩田英紘，田路英作，長友忠相，二瓶憲俊，姫路由香里，藤田勝，丸川活司，中村純子
【監事】石井保吉，鳥居良貴

欠席者：山城篤，松本慎二，石原光浩，小山芳徳，古田則行，三宅真司，有田茂実，服部学，廣井禎之

会の成立：役員45名中36名出席，委任状提出9名で会が成立した。
議長：阿部会長が青木総務委員長を指名。
議事録作成：阿部仁，棚田諭，新田篤史，中村純子 議事録署名人：石井保吉，鳥居良貴

I. 開会

II. 会長挨拶

皆様，本日はお忙しい中，2024年第1回細胞検査士役員会にご参加いただき，誠にありがとうございます。コロナ禍と異なり，学会の際に現地にてフェイスとフェイスで役員会を開催できることを嬉しく存じます。はじめに2つ重要なお話がございます。

1点は，2024年4月から市町村の子宮がん検診において，HPV検査単独法が導入されました。すでにHPV検査単独法を実施する市町村もありますが，今後多くの市町村が従来型の検診スタイルから，HPV検査単独法を実施することができるようになります。HPV検査単独法に移行することが一層されます。当検査士会も，これに対処すべく，細胞診専門医で進められているがん検診アドバイザーへの細胞検査士の参加や，がん検診委員会内山委員長が都道府県代表者のご協力を得て，HPV検査単独法導入に伴う影響度のアンケート調査を実施いたしました。その結果を参考に，細胞検査士会として細胞診専門医会とともに，今後の日本臨床細胞学会のあり方を検討していきます。

2つ目ですが，今年度は2つの重要な選挙が控えています。1つは，2025・2026年，役員選挙及び会長副会長選の時期になっています。役員の皆様におかれましては，前回同様に選挙にご協力のほどお願い申し上げます。日本臨床細胞学会理事選挙があり，現在，細胞検査士理事は，私，伊藤仁氏，澁木康雄氏の3名となっています。細胞学会の運営に関わる重要な理事選挙となりますので，細胞検査士で評議員の方は，ぜひ選挙にご協力をお願い申し上げます。

日本臨床細胞学会からのお知らせ（今後の学会開催）

- ・第63回秋期大会（進伸幸大会長）2024年11月16日～17日，千葉県幕張メッセ
- ・第66回春期大会（田畑務大会長）2025年6月27日～29日，東京都京王プラザホテル
- ・第64回秋期大会（有廣光司大会長）2025年11月29日～30日，広島国際会議場エリア
- ・第67回春期大会（宮城悦子大会長）2026年6月12日～14日，神奈川県パシフィコ横浜
- ・第65回秋期大会（前田一郎大会長）2026年11月22日～23日，千葉県幕張メッセ

III. 議事録確認

2023年度第2回細胞検査士会役員会議事録を確認した。

IV. 報告事項

議案書IV. 報告事項の内容が報告された。

1. 物故会員報告（棚田庶務委委員長）

池田栄雄 殿

田中健次 殿

斎藤 豊 殿

高久忠一 殿

斉藤美紀 殿

坂本美果 殿

飛田弥生 殿

物故会員に黙禱を捧げた。

2. 2024年度事業計画及びこれに伴う予算書（取り下げ）

3. 2024年度第1回委員長会議

4. 2025-2026年度役員選挙管理委員会

今回は才藤純一を委員長と他9名の委員で構成され、これらのメンバーで2025・2026年度の役員会の選挙を進めていただく予定。

V. 議案

1号議案：2023年度事業報告及びこれに伴う収支決算書（五十嵐経理委員長） **可決・承認**

会計報告：五十嵐経理委員長

監査報告：鳥居監事

繰越し金の有効活用方法の検討、来年度事業より収益事業の収入の内訳を収支に明確にすること、また多くの会員が正会員となり、役員に積極的に立候補するような環境を提示し、特に向上力のある若手の会員に細胞検査士会事業に積極的な参画をしていただき、さらなる検査士会の発展を望む。

2号議案：2025-2026年度役員選挙実施要項（青木総務委員長） **取り下げ（継続審議）**

VI. 確認・検討事項

1. 2025-2026年度役員選挙について（青木総務委委員長）

1) 役員選挙の流れ

基本は前回と同様の手順で、フローチャートは、選挙のところが紙ではなく電子投票で行う点が従来と異なる。WEB選挙の導入に際し、親団体の細胞学会の理事選で実施されている方法を細胞検査士会用にフォーマットを変え進めていく予定。

2) 選挙人人数決定シミュレーション

都道府県の代表者委員の協力で推薦いただき、前回同様の人数となっている。

2. 2025-2026年度役員選挙実施要項について（青木総務委員長）

電子投票に伴う変更部分を赤字で修正し、修正のある箇所のみ右側に掲載。

委員の任期を定める必要性、選挙管理のシステムの名称は事務局からの回答をそのまま掲載していること、立会人に関し事務局で抽出されたデータを選挙管理委員会と合わせて共有することで正しく結果に反映されているかどうかというのを監視する役割というのを想定している旨説明。

才藤純一選挙管理委員長へ説明済み。

平田規約委員長より、WEBであることの記載や、WEBになることで変わる任務や人数等内容を整え、みなし決議で選挙管理委員会の意見も踏まえて進めるほうが良いのではないかという意見が挙がった。

3. 細胞検査士会ホームページリニューアルについて（横山情報委員長）

前回意見の挙がったクラウド機能を含め相見積もりについて説明。
トラパンツで準備継続。

Ⅶ. その他

1. HPおよび会報などの公開物に関する使用許諾申請について（松本学術委員長欠席のため青木総務委員長代弁）
細胞学会本部の動きに合わせ、学会本部において継続審議中のため、同様に継続審議中。
2. 子宮がん検診・HPV検査単独法切り替えに関わるアンケート調査について（内山がん検診委員長）
アンケート調査の結果を報告。
細胞検査士会として今後考察を付け加えた上で、後日ホームページ等にアップして会員に情報提供する予定。会報への掲載についても役員会の賛同を得た。
3. 細胞診専門医の署名についてのアンケート調査について（仲村あり方委員長）
アンケート調査の結果を報告。
後日改めて役員会メールリングリストで考察について意見を回収し、最終的に阿部会長から細胞診専門医会のあり方委員会に細胞検査士会の意見であるということを報告する予定。
4. その他
 - ・余剰金の有効活用について（加戸国際委員長）
検査士会の重要事業である日台韓の事業に検査士が参加する際に、国際委員会として出席者や発表者への経費援助を提案。

Ⅷ. 閉会